

## ポプラの木介護センターとの交流

### 1. 目的と経緯

地域交流の一環で、近隣にある「ポプラの木介護センター」と交流を行っている。園から出向き、利用者の方と顔を合わせたり、会話を楽しみ交流を深めている。コロナウイルス感染症の感染拡大により交流が出来ない年が続いたが、再開し少しずつ回を重ねている。

### 2. 内容

子どもたちの元気な声が聞こえると、利用者の方々が顔を見せてくれます。「何才なの？」と聞かれ、指で“2”を示すと「おばあちゃんと100才がうね」とスタッフの方が教えて下さるなど、ほっこりするやり取りを楽しんでいます。「バイバーイ」「こんにちは」と声をかけてもらい、とても嬉しそうな子どもたちです。



### 3. 成果と課題

地域との繋がりが少なくなっている中で気軽に交流できる施設が近くにあることは、とても貴重でありがたいことだと感じている。挨拶や何気ない会話、年齢を超えた繋がりから、少しでも多くのことを感じ、地域から見守られる温かさを知る機会になればと思う。また、この交流が利用者の生きがいや健康増進になってくれたらとの願いもある。